

季節の
絵本

雨の日



ぴつんつん



『ぴつんつん』

もろ かおり・絵、武鹿悦子・文
後路好章・構成
くもん出版

※品切れ、重版未定。
図書館でお探してください。

オノマトペ(擬音語・擬態語)の研究者が構成した、音のリズムが楽しい絵本。カラフルな雨具をまとった子どもたちも可愛い!0才から楽しめます。

『おへやだいぼうけん』

ほりかわ りまこ
教育画劇

外で遊べない雨の日、空想ごっこはいかが?レストランで食事したり、空飛ぶじゅうたんに乗ったりと、子どもの無限の想像力を感じさせてくれます。



『きんぎょのひるね』

作・絵/奥野涼子
フレーベル館

※品切れ、図書館でお探してください。

金魚のいる池に雨が降り、お友達が集まってきました。でも素直に「遊ぼう」と言えなくて…。池が大きくなったり小さくなったり、しかけて楽しい一冊。



答えてくれたのは

絵本と図鑑の親子ライブラリー ビブリオキッズ
司書の安藤さん

質問募集中!

このコーナーでは、知りたいテーマの絵本や、選び方・読み方についての質問を募集しています。PIIのプレゼント応募と併せて、もしくは編集部メールアドレス(henshu@l-ma.jp)へお送りください。※メールの件名は「親子の絵本時間への質問」と明記。

ぴったりが
見つかる

親子の絵本時間

今月の
質問

上の子にそろそろ時計の読み方を覚えてほしいのですが、時間について学べる絵本はありますか?

(3才男の子、1才女の子のママ)

答え
おし
ます

時計の読み方を
しっかり教えたい
なら、『いまなんじ?』



(※2)
フィリス・ゲイシャイト/
ミン・グリーン・ぶん
デイヴィッド・ウォーカー 文
福本友美子 訳
岩崎書店

とけいのほん(※1)がぴったり。主人公の一日の生活を追いながら、時間やあいさつを覚えられます。後半は解説ページが充実しています。長い針と短い針の動きの違い、長針が1の時は5分を指す、30分は半とも

言う:など、丁寧に教えてくれますよ。

下のお子さんも一緒に読むなら、『だいすきぎゅつぎゅつ(※2)』がおすすめ。朝ごはんの後、絵本を読んだ後など、うさぎの親子が一日に何度もハグをします。「何時には何をします」という生活習慣を学べますし、忙



(※3)
さかいさちえ
教育画劇

しいママに子どもを愛しく感じる気持ちを思い出させてくれます。少し大きくなったお兄ちゃんも、ぜひ絵本のようにぎゅつとしてあげてください。
また、『ちいさなちいさなふしぎなおみせ(※3)』は、10時は本屋さん、11時は洋服屋さんと、主人公のポコポコがお出かけする話。ポコポコと一緒に「なんのお店かな?」と遊びながら、時間の概念を教えられます。